

ケアプランデータ連携システムに関する よくあるご質問（Q&A）【第2弾】

田川市地域包括支援センター 令和8年3月掲載

令和8年2月に掲載した「よくあるご質問（Q&A）」に続き、意向確認の中で多くいただいた民間データ連携サービスとの違いに関するご質問をまとめました。

カナミックやカイポケなどの民間データ連携サービスをご利用中の事業所様から、「すでに使っているサービスで当センターとも連携できるのではないか」というお問い合わせを多くいただいております。本Q&Aでは、その点について整理しておりますので、ご参考としていただけますと幸いです。

1 民間データ連携サービスとの違いについて

Q1 カナミックやカイポケなどの民間データ連携サービスを利用中ですが、このサービスを使って当センターとデータ連携できますか？

A できません。

民間のデータ連携サービスをご利用中であっても、当センターとのデータ連携を行うことはできませんので、当センターとのデータ連携をご希望の場合は、ケアプランデータ連携システム（ケアプー）の導入が別途必要となります。

今回ご案内している「ケアプランデータ連携システム（通称：ケアプー）」は、公益社団法人国民健康保険中央会（国保中央会）が構築・運営する国の公式なシステムであり、カナミックやカイポケなどが提供する民間のデータ連携サービスとはまったく別のシステムです。

Q2 そもそも「ケアプランデータ連携システム（以下、ケアプー）」とは、どういう仕組みですか？

A 介護ソフト間の「中継システム」です。事業所ごとに異なる介護ソフトを使用している場合、ケアプーを間に挟むことで、ソフトの種類を問わず提供票等のデータを受け渡しできる仕組みです。

具体的には、お使いの介護ソフト（カイポケ等）からデータ（CSVファイル）を出力し、ケアプー専用ソフトを通じて相手方に送信します。受信側も同じ手順でデータを取り込むため、日常お使いの介護ソフトを変更する必要はありません。

※ただし、ご使用の介護ソフトがケアプーに対応していることが前提となります。対応状況については、ケアプランデータ連携システム ヘルプデスクサポートサイト下部の「対応ベンダー一覧」（<https://www.kokuho.or.jp/system/care/careplan/>）からご確認いただけます。

Q3 カナミックやカイポケなどの民間データ連携サービスと「ケアプー」は、どのような関係ですか？

A カナミックやカイポケなどの民間事業者は、ケアプーとは別に、各社独自のデータ連携サービスを提供しています。

これらの民間サービスでは、たとえばカナミック等の介護ソフトを使用していない事業所にも無料でIDを発行し、Web上で提供票等のデータを受け渡しできるのが特徴です。

便利なサービスではありますが、あくまで各社独自のシステム上で行われるものであり、国保中央会のケアプーとは連携の経路が異なります。そのため、民間サービスでのデータ連携は、当センターとのやり取りには使用できません。

Q4 なぜ当センターではカナミック等の民間データ連携サービスに対応できないのですか？

A 当センター（田川市地域包括支援センター）は、福岡県介護保険広域連合に所属する地域包括支援センターです。広域連合の運用上、カナミック等の民間データ連携サービスには対応することができません。

このような事情から、当センターと事業所様との間でデータ連携を行うには、国保中央会が提供するケアプランデータ連携システム（ケアプー）の導入が唯一の方法となります。ご理解のほどよろしくお願いたします。